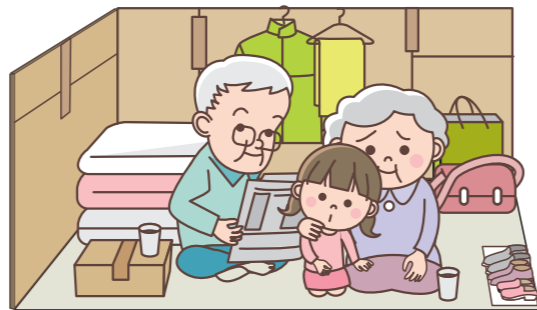


ポイント  
**3**

**被災後の生活で困ることは?**

**想像以上に過酷な被災後の生活**

まず困ることは、飲み水とトイレの水がないことです。次に、火や水を使わない食料が手に入らない、電気やガスが使えない、電話が使えないなど、すぐに不自由な生活を余儀なくされます。避難所生活は非常に過酷です。また、住宅の修繕や生活再建に要する多額の費用も課題となっています。



ポイント  
**4**

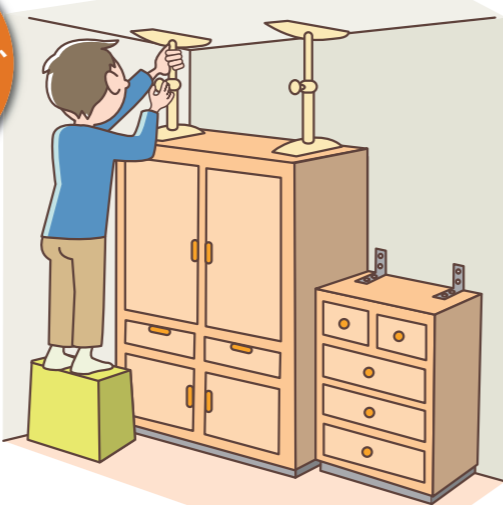
**被害を少しでも小さくするためには?**

**揺れによる被害を最小限にするために備えること**

- 家具類の転倒防止を実施していますか?
- 住宅の耐震診断を行い、必要に応じて補強をしていますか?
- 避難経路をふさがないように、出入り口の近くに物を置かないようにしていますか?
- 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼ったり、近くに物を置くことを避けたりしていますか?
- 火事対策に、住宅用消火器や感震ブレイカーなどを設置していますか?

対策が  
できているのか、  
チェックして  
みましょう!

家具転倒防止の道具として、ポール式やベルト式などといった形状のものがあります。



**被災後の生活のために準備しておくこと**

- 食品や日用品を多めにストックしていますか? \*1
- 避難生活に備え、必要最低限のものをリュックなどにまとめていますか?
- 避難路や避難場所を知っていますか?
- ハザードマップなどで、住んでいる地域の災害リスクを確認していますか? \*2
- 近隣住民同士で協力できる体制はできていますか?

\*1 賞味期限などの心配をなくするために、日常の中で消費しながら買い足すといった「ローリングストック法」と呼ばれる備蓄方法があります。  
\*2 ハザードマップは、自治体のホームページから入手することができます。



飲料水や食料、携帯ラジオ、懐中電灯、歯ブラシ、常用薬(お薬手帳)、携帯電話用充電器、保険証、貯金通帳のコピー、予備のメガネ、携帯トイレなどをリュックに入れておきましょう。

避難場所まで、複数の経路を確認しましょう。



生活を守る! 防災・減災情報 **地震災害**



日本は、環太平洋地震帯に位置する地震多発国。2011年の東日本大震災や2016年の熊本地震など、記憶に新しい大震災も少なくありません。また、今後は南海トラフ地震や首都直下地震の発生も危惧されています。私たちは「地震はいつか来る」と思って、普段からしっかり備えることが大切です。



ポイント  
**1**

**どんな被害が発生するのか?**

**多発する人的被害**

家屋の倒壊や同時発生する多数の火災などで多くの死傷者が出るのが予想されます。また、津波に襲われるとすべてのものが流出します。避難所には大勢の避難者が押しかけます。車中泊をする人はエコノミークラス症候群になるなど、災害関連死も多く発生しています。

**奪われる日常生活**

電気・水道などのライフラインが途絶し、また、交通機関はストップします。家が倒壊して避難所生活になる場合もあり、震災は一瞬で日常生活を奪ってしまいます。



ポイント  
**2**

**身を守るためには?**

屋内ではテーブルの下など身を守る場所に避難しましょう。



屋外では落下物から身を守り、安全な場所へ避難しましょう。



海沿いになったら、速やかに高台へ避難しましょう。



**地震発生の瞬間はまず身を守る**

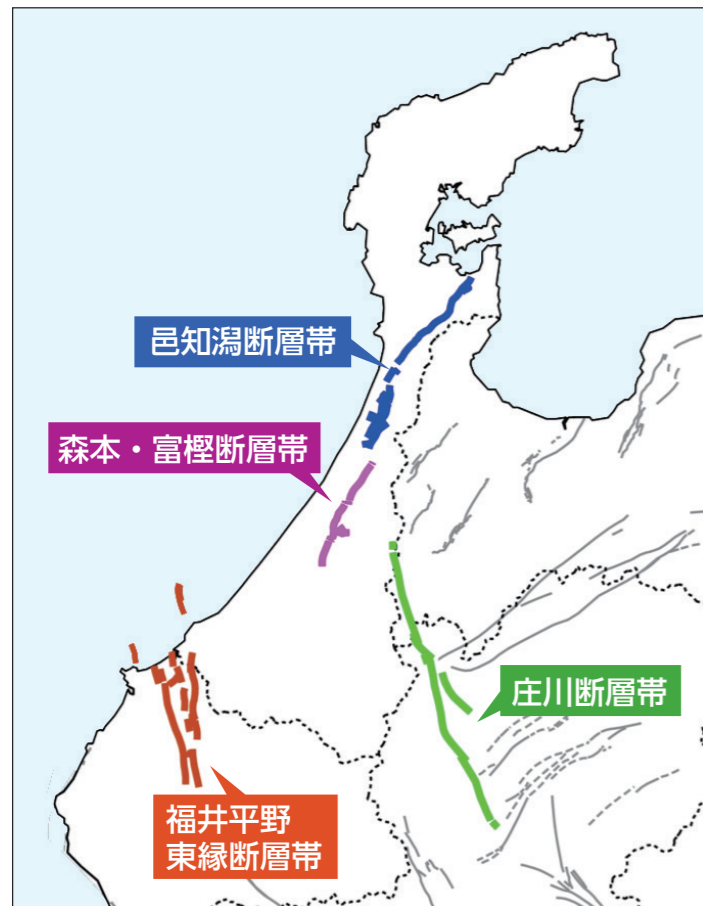
大きな揺れを感じたらとにかく身を守ることだけを考えます。室内では、倒れてくる家具などに注意し、机の下など身を守る場所に避難しましょう。また、屋外ではガラスやブロック塀のある場所から遠ざかるようにしましょう。

**揺れがおさまった後に行動すること**

避難のための出口を確保し、ガスコンロやストーブなどの火気を使っていたらすぐに消しましょう。火災になった場合は、消火を開始し、隣近所に助けを求めましょう。また、津波の危険性のある地域にいたら、すぐに高い場所に避難しましょう。避難の際は、隣近所の安否確認を行うことも大切です。



# 石川県周辺の主な活断層



## 森本・富樫 (もりもと・とがし) 断層帯

金沢平野の南東縁に発達する活断層帯。河北郡津幡町～金沢市を経て白山市明島町付近 (旧 石川郡鶴来町) に至る、長さ約 26km の断層帯。

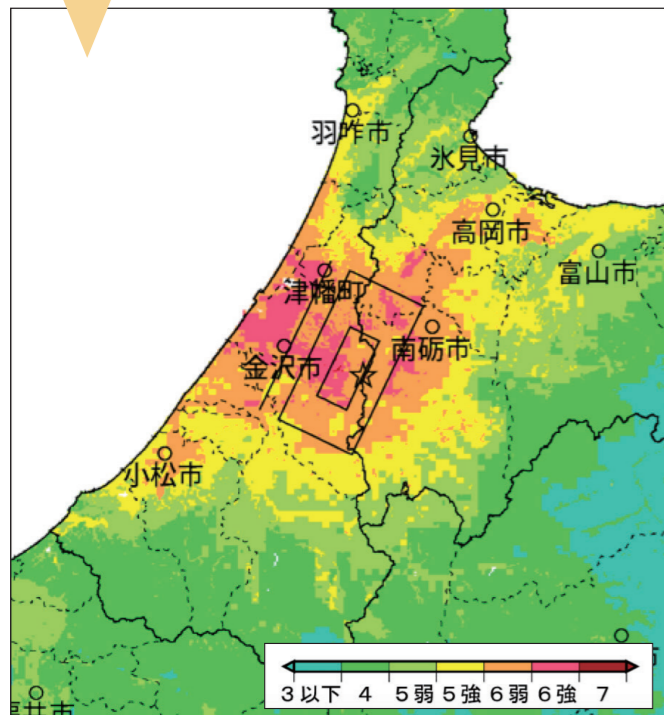
## 邑知潟 (おうちがた) 断層帯

石川県中部に分布する活断層帯。石川県七尾市から鹿島郡中能登町、羽咋市、羽咋郡宝達志水町を経てかほく市に至る、長さ約 44km の断層帯。

| 活断層           | マグニチュード | 30年以内の発生確率 |
|---------------|---------|------------|
| 邑知潟断層帯        | 7.6程度   | 2%         |
| 森本・富樫断層帯      | 7.2程度   | 2～8%       |
| 庄川断層帯         | 7.9程度   | ほぼ0%       |
| 福井平野東縁断層帯(主部) | 7.6程度   | ほぼ0～0.07%  |

【出典】地震調査研究推進本部

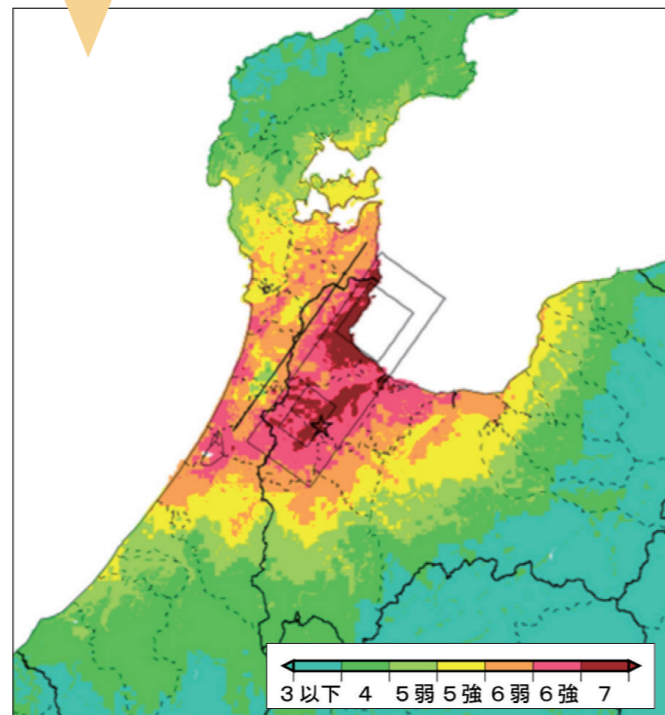
森本・富樫断層帯で地震が発生したら…



地震の規模は、マグニチュード (M) **7.2** 程度と推定されます。

【出典】地震調査研究推進本部

邑知潟断層帯で地震が発生したら…



地震の規模は、マグニチュード (M) **7.6** 程度と推定されます。

【出典】地震調査研究推進本部



# 非常持出品を用意しよう

以下にあげたものを参考に、家族構成などに配慮して準備しましょう。

## 貴重品

現金 (10円硬貨があると公衆電話の利用に便利)、預貯金通帳、印鑑、免許証、権利証書など。

## 非常食品

(缶切り、栓抜きも忘れずに) かんパン、缶詰など火を通さなくても食べられる物。ミネラルウォーター、水筒、紙皿、紙コップ、ナイフなど。

## ラジオ

予備電池は多めに用意。

## 応急医薬品

絆創膏、傷薬、包帯、胃腸薬、鎮痛剤など。

## 懐中電灯

予備電池も忘れずに。できれば一人に一つ。

## その他

下着、上着などの衣類。タオル、ティッシュ、合羽、ヘルメット、マッチやライターなど。

避難後の生活必需品として、米 (レトルトも便利) やレトルトのおかず、缶詰などの食品や飲料水 (ポリタンクに貯蔵、一人1日3ℓを目安に)、卓上コンロ (ガスボンベ)、毛布や寝袋、バケツ、洗面用具などを用意しておくといでしょう。(3日分程度)

地震保険も忘れずに!

地震による火災等の損害は、火災保険では補償されません。地震に備えるには「地震保険」が必要です!

(注) 地震保険は単独で加入することはできません。火災保険とセットで契約する必要があります。詳しくは、お近くの損害保険代理店または損害保険会社までお問い合わせください。

# わが家の防災メモ

避難場所

## 家族の連絡先

| 氏名 | 電話 (学校・勤務先) | 住所 |
|----|-------------|----|
|    |             |    |
|    |             |    |
|    |             |    |
|    |             |    |

## 緊急連絡先

| 連絡先 | 電話 | 住所 | メモ |
|-----|----|----|----|
|     |    |    |    |
|     |    |    |    |
|     |    |    |    |
|     |    |    |    |